

2 節 正典（聖書の正経典）

- 2 聖書、すなわち、記された神の言葉、の名の下に、今では、旧約と新約のすべての書物が含まれており、それらは以下のものである。

旧約聖書（五つの律法の書、十二の歴史書、五つの諸書、十七の預言書）

新約聖書（四つの福音書、一つの歴史書、二十一の教理書、一つの預言書）

（詳細略）

これらはすべて、神の靈感によって与えられており、信仰と生活の規範である。

「しかしアブラハムは言った。『彼らには、モーセと預言書があります。その言うことを聞くべきです。』……アブラハムは彼に言った。『もしモーセと預言書との教えに耳を傾けないのなら、たとい誰かが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』」 ㊦

ルカの福音書 16・29, 31

「あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。」 ㊦

エペソ人への手紙 2・20

「この書物の預言の言葉を聞くすべての者に、わたしは証しする。これに付け加える者があれば、神はこの書物に書いてある災いをそのものに加えらる。」 ㊦

ヨハネの黙示録 22・18

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人の教え、戒め、誤りを正し、
義に導く訓練をするうえに有益です。」 ㊦

テモテへの手紙 二 3・16

※2 節の命題についての解説。

『記された神の言葉』とは、神の言葉の記録というよりも、『文書における神の言葉』と理解する方がよい。……『神の靈感によって与えられた』
と言うのは、聖書の〈権威の根拠、出所〉を指す言葉である。また『信仰と
生活の規準として与えられた』と言うのは、『聖書の効用の範囲』を示す言
葉である。」(解説)